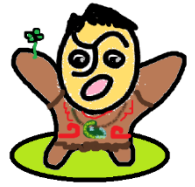


みいつけた!

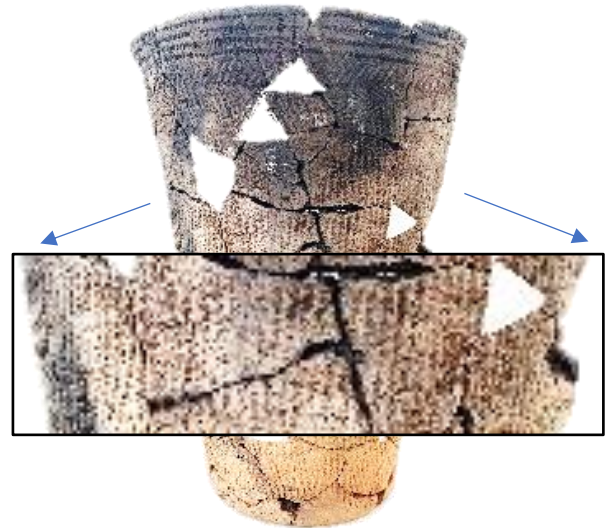


六ヶ所村の魅力を発掘・発見・発信!

# 縄文土器の文様の秘密

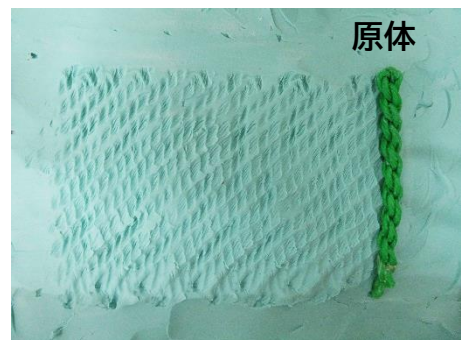
☆郷土館裏の林に、見事な葛の蔓がありました☆

1月25日(火)、朝、郷土館に出勤すると、裏の駐車場から「ケッ!ケッ!ケッ!ダララララララ!」とキツツキのドラミングが聞こえてきました。近づく「ケッ!」といて、サーっと沢水の方へ飛び去ってしまいました。ふと見上げると、大きな木に見事な葛の蔓が、青空に向かって力強く絡み合って伸びていました。縄文人もこのような「植物の強い生命力」に魅了されて、土器に文様をつけていたのかもしれない。



円筒下層 d2 式土器

上尾駸(1)遺跡出土  
縄文時代前期(約 5,500 年前)



原体

斜縄文と原体

縄(原体)を横方向に転がして縄目文様を施す

葛が、縄文土器の縄目をつける道具の撚り糸(原体)のように木に、絡みついていた